おじゃましまーす

みんなで作る「だがしやさん」から
みんなに愛される「だがしやさん」へ

とうごうっこのだがしや

福井市東郷地区

「とうごうっこのだがしや」は福井市東郷地区にある、地区の児童と大人たちで運営する駄菓子店だ。JR越前東郷駅近くの飲食店「こびり庵」（東郷二ケ町35-4）で毎週月曜日の午後3時30分から5時まで営業する。

東郷地区の活性化と次世代の活躍推進のために活動する団体「東郷ふるさとおこし協議会」が、地区内にコンビニやスーパーなど、気軽に買い物ができる場所が無くなったことから「地域の課題解決と子どもたちに楽しい経験を」と、地区一丸となって運営する駄菓子店の常設を発案。2021（令和3）年7月にオープンした。

それから約1年半。同協議会副会長の北川 真也さん（38）は「各所からの反響と地区への影響は、当初の目論見以上」と話す。

まだ開店前の午後3時過ぎ。筆者が車で「こびり庵」が面した通りに入ると、たくさんの子どもたちが目に飛び込んできた。店舗前にはカラフルな自転車が並び、店は大にぎわい。「お客さん」の子どもたちは、小さな財布の中身を気にしながら、店内に並んだ種類豊富な駄菓子を喜々として買い物かごに入れていく。

「店員」として店に立つのは、登録している小学2年生から6年生までの児童15人。週替わりで1日につき5人ほどが活動。そこにボランティアの大人がサポートする。仕事はレジの他、商品の補充、くじコーナーの立ち合いや店内見守りなど、多岐にわたる。商品の仕入れも自分たちでするそうだ。

取材日に集まった東郷地区の皆さん

オープン当初から「店員」として活動している5年生の女子児童は「手伝いをしたり、人と関わったりするのが好き。年下の子と話したり、友達が買いに来た時に『ありがとう』や『頑張ってね』と声をかけてくれたりするのがうれしい」と喜びを話す。

買ったお菓子をこれから近くの公園で食べる、という3年生の児童4人組は「お店ができて本当によかった。（駄菓子店が）ない時代なんて考えられない！」と元気いっぱい。

すでに東郷っ子にとってなくてはならない存在になった駄菓子店。北川さんは「無理せず、できる限り長く続けていきたい。ここでの触れ合いを通して『東郷愛』を育んでくれたら」と願う。休業日など、情報はインスタグラム（@togokko.no.dagashiya）で発信している。

「どれにしようかな？」とお菓子を選ぶ児童

かわいい♥が溢れるユミグルの森

県内外のイベントでブースを構える「ユミグルの森」の"ちょっと変わった編みぐるみ"が話題を呼んでいる。作っているのは、あわら市の東 優美さん（42）。東さんが手掛ける作品たちは、不思議なかわいさがあふれている。好き嫌いは分かれそうだが、好きな人は一瞬で恋に落ちてしまうような強烈なインパクトだ。

洋裁を学び、服飾関係の会社で働いていた東さんは、その技術とセンスを生かして、バッグなどの布小物を作りイベントに出店していた。作品の隙間を埋めるディスプレイ用として作った編みぐるみが注目を集め始め、徐々に主力作品になっていったのだとか。「コロナが落ち着き始め、県内外のイベント出店をこれまで以上に増やしていこう」と、今年の夏に会社を退職し、編みぐるみ作家として起業したところだ。

東さんは、想像上のファンタジックなデザインのキャラクターやウサギ、ネコなどをかぎ針一本で次々と生み出していく。さまざまな毛糸で緻密に編み上げ、最後に着色したレジンで作った目を入れると、魂が宿ったように瞳が光り、意思を持っているように見えるから不思議だ。同じ表情のものは二つとなく「この個性が際立つ瞬間が楽しい」と東さんの表情も輝く。来年は卯年ということでウサギの制作にも力が入っているそう。今月12日までは福井市内のカフェで、イベント限定キャラクターの「うさぴょん」を始め、多数展示中だ。個性豊かな来年の主役たちに会いに出かけてみては。

東優美さん

ユミグルの森の編みぐるみに出会える場所

12月13日（火）まで
ちょっと変わった編みぐるみ展 2022
場CAFE+GALLERY うるかふぇ。 住福井市安保町14-57
問0776-97-9897 休水曜日、第1火曜日

12月10日（土）、11日（日）
ART＆雑貨2022winter
場県産業会館2号館 住福井市下六条町
※中学生以上は300円の入場料が必要

で情報発信中

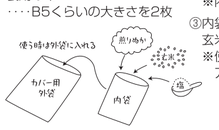
ハーブを暮らしに
～特別編～「温活」で寒い冬を健やかに

レンチンでお手軽 温湿布（おんしっぷ）

この冬の寒候期予報では「北陸地方は平年に比べて曇りや雪または雨の日が多い」とか。今年も寒い冬になりそうです。自然の材料のみを使った温湿布で体を温めませんか。ホカホカの蒸気とぬかの香りは癒やし効果抜群。体を温めると免疫力が上がると言われています。血のめぐりが良くなると疲労回復も早まりますよ。基本の作り方と使い方を紹介します。

材料
ぬか‥‥150㌘
玄米‥‥120㌘（白米でも可）
塩‥‥‥30㌘
袋用の布
‥‥B5くらいの大きさを2枚

作り方
①ぬかをきつね色になるまで中火で炒る
※煎（い）りぬかを使う場合にはこの作業は不要
②B5サイズの布で、好みの形に袋を2枚作る。
※内袋は少し小さめに作っておく。
③内袋に完全に冷めた煎りぬかと玄米、塩を入れて口を縫いとめる。
※使う場所によって好みの形にアレンジ。



生ぬかは煎ることで防虫・防腐効果が生まれ、生ぬかより遠赤外線効果もアップします。布は目の詰まったコットン100%のものを使用してください、縫い糸も木綿糸を使います。ぬかを使うのが面倒な人や匂いが苦手な人、アレルギーのある人は小豆で代用を。ラベンダーのドライフラワーなどを加えて香りを楽しむのもお薦めです。

使い方
電子レンジで温めて使います。（600㍗で1～1分半または500㍗で2分ほど）
※熱くなりすぎたと感じたら、タオルなどで巻いて火傷をしないよう気を付けましょう。婦人科系の不調にはお腹を温めます。このほか腰、目、首、肩、足先など気持ち良いと感じるところを温めましょう。※炎症のある場合は温めてはいけません

心と身体のメンテナンス
アロマセラピスト
山岸 りえさん

公式LINE

YouTube「山岸りえ　温湿布」で検索

ホームページ　陽月草華　心と身体の健康を保つセラピー（yougetsusoka.com）

個人情報保護法 さんぽみちではお客さまに記入していただいた個人情報は、さんぽみちとお客さまの区域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどに利用させていただきます。

インターネットで気軽に参加
「お家で見られるコミセン講座」 坂井市

寒さや雪で外出の意欲がそがれ、家にこもりがちになる季節がやってきた。外に出られなくても、趣味を広げたり健康を維持したりするために何か取り組みたいと思っている人たちに耳寄りな情報。

坂井市は、市内各コミュニティーセンター（以下コミセン）の市民向け講座をネット配信している。コロナの影響で自粛が相次ぎ、家庭で過ごす時間が長くなった状況を受けて始まったもので、手軽にできる運動やさまざまな食材を使った料理など、動画撮影が可能な講座を選んで、2020（令和2）年6月から始まった。各コミセンの担当者らは「視聴者は何を知りたがっているか」「どういった動画があると分かりやすいか」などを考え、伝わりやすさや時間配分を工夫しながら撮影に臨んだそうだ。見た人からは「いろんな講座を家で体験することができて嬉しい」「コロナ禍の中、家で気軽に体操ができて楽しい」「何回も見直すことができるので覚えやすい」などの意見が寄せられている。この取り組みを主導している坂井市まちづくり推進課の福田 真琴さんは「いつでもどこでも誰でも受講できる『お家で見られるコミセン講座』が、普段コミセンに足を運ぶ機会のない人たちに『学び』と『交流』の機会を提供し、対面講座が再開した現在でもコミセンに来るきっかけとなって、地域交流につながってほしい」と期待を寄せていた。

動画はさかいケーブルテレビの坂井チャンネルで放送されているほか、YouTube（ユーチューブ）でも公開しているので、市外の人も視聴できる。家に閉じこもりがちな冬も、ネット配信の講座を上手に利用して楽しく乗り切りたいものだ。

既に公開されている「お家でコミセン講座」

パンチ＆エアロ
ヨガ教室
姿勢改善ピラティス教室
体操アラカルト教室
歌声喫茶
ノルディックウォーキング講座
全身若返り体操
好感度アップ話し方講座
ビビンバに見る韓国の食文化講座・調理実習講座
今さら聞けないマナー講座　～結婚式編・お葬式編～
など

パーソナルトレーニング
初めての裂き織り教室
全身若返り体操
リラックスヨガ教室①②
スマイル＆リフレッシュ講座
米粉de料理教室

YouTubeで視聴するには「坂井市　コミセン講座」で検索を
問坂井市まちづくり推進課☎0776-50-3017

福井県民待望！
店舗型のメダカショップがオープン

今年10月、坂井市丸岡町にメダカ専門販売店がオープンした。その名も「MEDAKA３（めだかさん）」。店主は丸岡町に住む酒井 正次郎（まさじろう）さん（48）で、自営業の傍ら、土曜・日曜・祝日のみ営業する。

8畳ほどの店内には常時15、6種類の個性豊かなメダカが並ぶ。価格はつがいで1,000円から。500円でできるメダカすくいも人気だ。

酒井さんがメダカに魅せられたのは、福井市内の農産物直売所で販売されているメダカに出合ったことがきっかけ。すぐ市内のメダカの繁殖家の元へ訪ねていき、つがいで5ペア購入した。そのメダカが数ケ月で約500匹に増えたことに驚き、面白く感じた。ネット通販などで多種多様なメダカを買い求め、飼育繁殖するようになった。「体型や模様、色など、いろいろな種類がある。かけ合わせることで新たな個性を持ったメダカが生まれるのも魅力」と話す。

店舗を開いたのは「好きが高じて、ほとんど勢い」と笑って話す酒井さん。メダカ愛好家のみならず「メダカを飼ってみたい」と考える家族連れらも多く来店し、時には近所の人がメダカの飼い方の相談に訪れるそうだ。福井には店舗型のメダカ専門販売店は珍しいそうで「気軽に来てもらえてうれしい」と、来店者とのコミュニケーションも楽しんでいる。

店にはメダカの餌や水質を整えるPSB（光合成培養細菌）、手作りの選別用の網なども並び、飼い方のアドバイスもしてくれる。

県内にはまだまだメダカの愛好家が少ないそうで「もっと福井にメダカ好きな人が増えればうれしい」と酒井さん。県内で年に数回開かれるメダカ販売イベントにも参加するなどして「販売だけでなく、メダカの魅力発信にも力を入れたい」と笑顔で話した。

店主の酒井さん。手作りの店舗看板と一緒に

網ですくう、人気のメダカすくい（5匹で500円）。メダカが素早く動き回るため、5匹すくうのは意外と難しいとのこと。ぜひチャレンジしてみて

「MEDAKA３」のメダカステッカー。メダカ愛好家はステッカーを作成し、それを名刺代わりにするのだそう

MEDAKA3
住坂井市丸岡町羽崎
（国道8号線羽崎交差点を東方向に入ってすぐ南側）
問090-5175-5214
時土曜・日曜・祝日の午前10時～午後5時　駐あり
（@m,e,d,a,k,a,3）で情報発信中

※価格はすべて税込み

今月の 読者アンケートプレゼント

紙面をより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募方法 ①希望のプレゼント　②住所、氏名、年齢、性別、電話番号、職業　③現在購読の新聞名　④おすすめのおいしい飲食店　⑤読者からのお便りコーナー、テーマ「2023年、私は今年○○○」への投稿を記入の上、下記のいずれかの方法でお送りください。

■はがき　［宛て先］〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内「さんぽみち嶺北12月号プレゼント」係
■メール　osanpo@fukuikoho-c.co.jp
■LINE（ライン）　さんぽみち公式アカウント　ID：@059fzwww

↑LINEのおともだち登録はこちらから
お友だち募集中！
↑メールはこちらから
メール、LINEの場合は、件名または本文初めに「さんぽみち 嶺北12月号プレゼント係」と入力してください

A Café MARE（カフェ マーレ） お食事券1,000円分 3人
B フォーナ138 お食事券500円分 5人
C 福井ふるさと茶屋 縄文の里 ぜんざい引換券 2人
LINE限定プレゼント 「ハーモニーホールふくい」チケット引換券 詳しくはカラー面をご覧ください。 2人

締め切りは12月20日（火）必着
※当選者の発表は、プレゼントのお届けをもって代えさせていただきます。

お知らせ伝言板　参加者募集

ニューイヤー ボディメイクイベント

日時 令和5年1月9日（月・祝）

ボディメイク1部（9：30～10：40）
身体が気持ちよく伸びるストレッチも！
「バレトンで姿勢改善 引き締め美Bodyエクササイズ」
講師　廣田衣美さん

ボディメイク2部（11：00～12：10）
ポールも使って、エクササイズ！
「美尻エクササイズで代謝アップ＆脂肪燃焼」
講師　稲田友香子さん

情報はこちらから

定員　各40名（応募多数の場合は抽選）
対象　16歳以上で医師から運動制限されていない方。子ども連れは不可。
受講料　各500円　（別途利用料金が必要）
申し込み　12月23日（金）17時までに福井市東山健康運動公園窓口または電話にて受け付けます。
※コロナ感染対策のため、定員等変更の場合あり。

冬の講座も現在募集中です。生活習慣病予防講座「体力3K水中運動」や健康維持増進講座「ZUMBA GOLD」などたくさんの講座を開設してお待ちしています。

問い合わせ　福井市東山健康運動公園＝☎0776-54-9190

読者からのお便りコーナー

お題は「大そうじ」

屋内は気づいたときにちょこちょこと、網戸は暖かい時期に掃除しています。年末は換気扇やソファー下、高い棚などの掃除をして終わり。年々一気に大掃除も出来なくなりました。
（福井市 60代 女性）

年末は手がかじかんで寒いので、なるべく暖かい時期に掃除をします。
（勝山市 60代 男性）

網戸の掃除は11月の晴れた日にします。12月に入ると天候不順になるので早めに開始します。
（福井市 70代 女性）

子ども3人が小さい時は毎年12月30日に実家に預け、大掃除をしたのを懐かしく思います。
（越前市 70代 女性）

わが家は、家族全員で掃除場所の割り振りをします。（福井市 60代 女性）

年末の大そうじはとても大変でへとへとになります。（鯖江市 30代 女性）

お風呂は男、トイレは女がやるといい年末の特番を見てから毎年これです！今年は私が第2子出産で自宅にいないので、旦那に頑張ってもらいます！！（勝山市 30代 女性）

8月にコロナに感染し、外出もできず窓ふきをしていました。
（越前市 60代 女性）

投稿募集
投稿してくださった皆さま、ありがとうございました。次回のテーマは「2023年、私 は 今 年○○○」です。あなたの来年の目標や決意、やりたいことなどを教えてください。
※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

スタッフ日記
今月のお便りコーナーのテーマは「大そうじ」。エピソードや裏技などたくさんのはがきが寄せられました。1番多かったのは「面倒」「毎年諦めモード」などのご意見です。
筆者もその一人。子どもたちが小さい頃「宿題は早めにしようね」とか「出したら片付ける」などと言っておきながら、自分は結構汚れをため込んでいる。大人になった娘に「毎日少しずつ掃除をすれば、年末の大掃除は簡単に済むのにね」と言われている。今年も言われそう。いや絶対言われます。